



# 取材や参加の機会を増やします

3月20日に飯山市で開く、こども取材教室「内山紙」編一。このあいだ、信毎こども新聞のページ(2月23日付)で「参加者ほ集！」の記事を出したところ、早々に定員を超える応がありました。みんなの熱意にびっくりです。

こども新聞編集部では、今後、参加者をつのって行っている、いつもの取

協力してね!



材教室のほか、急に決まった取材や、こども記者に手伝ってもらいたい企画などについて、近くに住んでいるこども記者1人~数人に声をかけて、大人記者といっしょに取材してもらおう機会をつくりたいと考えています。

こども記者のみなさんに活やくしてもらおう機会を、もっと増やせたらいいな! ご協力をよろしくお願いします。

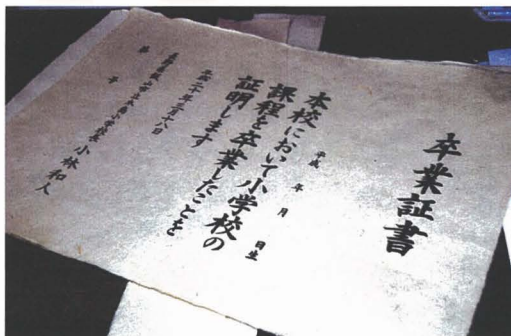


内山紙をすく

## 内山紙って何?

飯山地方でつくられている「内山紙」は、和紙の一つですが、この紙を通して見える光は、何ともいえない柔らかさを感じさせます。丈夫で日焼けもしにくく、障子紙として長く親しまれてきました。また、手ざわりの良さ、温もりある色合いから、賞状や証書に使われたり、封筒や使せん、ランプなどに加工されたりして特産品になっています。

3月の取材教室では、その内山紙をつくる工房を訪ね、職人さんから内山紙の作り方やその歴史、伝統にかける思いを取材。工房では、紙すきの体験もします。当日参加するこども記者が書く記事は、3月30日付のこども新聞で紹介する予定です。どんな新聞ができるか楽しみだね。



内山紙の卒業証書



ランプにも使われるよ



3月の取材教室の講師・阿部一義さん

どんなところに行って取材をしてみたいか、こんな記事を書いてみたいというアイデアも、ほ集しています。はがきやファクス、メールで気軽に送ってね。

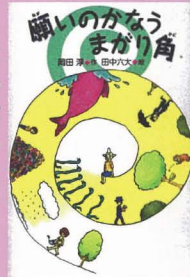


## 「願いのかなうまがり角」

作・岡田淳 絵・田中六太 福成社

おじいちゃんは、近くのアパートにひとりであらしている。ほくはしよちゅう、おじいちゃんのアパートにいく。雨がふったある日、雨を見ながらおじいちゃんが話してくれた。おじいちゃんは雨の中をぎやくにおよいで雲まで行った。そこで出会ったのが、カミナリの娘さん。おたがいにとめで気に入る、いっしょに地上に逃げてきた。

「それがおまえのおばあちゃんだ」。このほか、家の中に森もあれば川もあり、砂漠まであるというこどものころ住んでいた家の話など、全部で7話のついでありますが、おじいちゃんのスケールの大きな話にびっくり。くすと笑える1冊です。定価1050円。(宮)



本のひととびら

## もし記者じゃなかったら

### 長野県には住んでいなかった

せつかくの機会をもらったので、初めに私がいる「ニュース配信部」のことを簡単に紹介します。部員は記者ですが、みなさんの家に届く信濃毎日新聞の記事の取材や執筆には、直接かかわっていません。新聞に載った「読む」記事を、FMラジオ用の「聞く」原稿にしたり、ケーブルテレビ局向けの文字ニュースにしたりするのが主な仕事です。

さて「もし記者じゃなかったら」というテーマ。きっと、〇〇になりたかった、なっていた-ということが求められているのですが、確実に言えるのは、記者になっていなければ、観光で長野県に来ることはあっても、たぶん住んでいなかったということです。

というのも、生まれてから高校を卒業するまで過ごしたのは、宮城県のリース海岸にある漁港の町。大学は東京で、4年生の秋まで、長野県で仕事をするとは考えてもいませんでした。

実際、信毎の採用試験を受ける前、東京に入社が内定した会社があり、取引先のひとつである工場も見学していました。勤めていれば営業からのスタート、記者とは違う苦労をしたと思います。

ただ、今につながる「新聞記者」には、ひそかにあこがれていました。

### ニュース配信部 部長 上田 多一



た。高校に入学して間もないころ、新聞社の記者とその会社が発行する週刊誌の編集長などを務めた、学校の大先輩の講演を聞きました。内容はすっかり忘れましたが、それが活字メディア、特に「新聞」と「新聞記者」の仕事に興味を持ったきっかけでした。

そういえば私の初めての新聞体験は、みなさんと同じ小学生の時。学校の少年赤十字(JRC)の委員長として取材を受け、小さな顔写真入りで載ったこと(今回の写真はそれ以来!)

ところで内定していた会社は、だいぶ後になくなってしまったようです。そのときそこいたら、どうしたでしょう。海辺の町に戻って暮らすことを選んでいたかもしれません。

そのふるさは2011年3月11日、東日本大震災の津波で大きな被害を受け、小学校や中学校の同級生、友人が亡くなり、見られた街並みも消えてしまいました。

今になると「もし記者じゃなかったら」と考えるのはむしろ、長野県で働き暮らしているのは、「縁」かな-と思っています。